

🍀 サント・ペテルブルク市公式代表团 による人工光合成研究拠点訪問

2018年10月10日（水）に、サント・ペテルブルク市の公式代表团が、大阪市立大学を訪問しました。サント・ペテルブルク市は、ロシアにおいて最も大きな科学・高等教育の中心地の1つであり、300を超える科学機関（70以上のロシア科学アカデミー機関、その他の国立アカデミー機関、10の国立科学センター、150以上の国立中等・高等職業訓練機関）が集中している都市です。サント・ペテルブルク市の大学・科学機関は、大阪市の科学・高等教育分野に大変興味があり、教育連携強化を目的として代表团が来学し、人工光合成研究センターも見学しました。



サント・ペテルブルク市公式代表团と本学関係者



人工光合成研究について紹介する天尾豊所長

代表团は、人工光合成研究センターの施設紹介DVDを視聴し、天尾豊所長の案内のもと、実際に実験室・装置などを見学しました。その後、小田中副学長、宮野学長補佐、天尾所長をはじめとする大学関係者と、

科学教育に関する活発な意見交換をしました。

🍀 2018年度第2回人工光合成研究拠点講演会開催

2018年10月12日（金）に、人工光合成研究拠点第2回講演会が触媒学会生体関連触媒研究会共催のもと開催されました。今回の講演では、京都大学大学院工学研究科准教授の寺村謙太郎先生を講師としてお招きしました。寺村先生は「全固体光触媒を用いた水を電子源とした二酸化炭素の光還元」と題して、人工光合成（水による二酸化炭素還元）を進行させる固体光触媒の開発・設計についてご講演されました。地球温暖化やエネルギー枯渇問題に対する人工光合成の役割について説明された後、固体光触媒による反応メカニズムと、二酸化炭素を還元し一酸化炭素を効率良く生成するための触媒設計指針について基礎から詳しく説明されました。また、寺村先生のグループが開発した固体光触媒は、現在、世界トップレベルの効率で一酸化炭素を生成し続けていることを、豊富な実験データと共に示されました。



寺村健太郎先生

講演会には学生、教員を含めて多数の参加があり、参加した学生からも質問が挙がり活発な講演会となりました。このような講演会を今後も定期的に開催する予定です。人工光合成研究拠点では、当研究センターに関するお知らせや講演会開催の案内など、最新情報をホームページや Facebook に掲載しています。是非チェックしてください。

人工光合成研究拠点 ニュースレター
第3巻・第8号平成30年11月14日発行
発行責任者：天尾 豊（大阪市立大学人工光合成研究センター所長）
編集責任者：吉田朋子（同副所長）
<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>